



発行：自交総連Km労働組合 台東支部
編集・発行人：片岡 孝徳
〒111-0023 東京都台東区橋場2-20-13
国際自動車株式会社 台東営業所内
TEL 03-5808-9951/FAX 03-5808-9951
E-Mail: atukmtaitoushibu@dream.bbexcite.jp

まだ続けるのか、銀座地区自主規制：：！！

企業内自主規制はただのパフォーマンス：！！

業界全般での無軌道な販売競争などが露呈し、社会から問題視されることがあり、現状のまま放置しておくとは社会・大衆の批判を集め、やがては公権力の介入を招いて法令や行政機関などによる厳格な公的規制が制定されるなどの事態に繋がりがかねない。

業界は厳格な公的規制の導入と公権力による継続的な監視により、以降の業界各社の活動停滞や、場合によっては業界全体の存続そのものに大きな支障を来たす事態を招く恐れがある際に、その業界の関係者間の同意という形で行われる回避手段の一つが自主

規制である。(ウィキペディアより抜粋) 銀座地区自主規制が実施されたのが、事業許可取消し処分となった2009年9月1日からですから、ちょうど3年が経過しました。

趣旨や目的が明確ではなく、期限の設定もなく、乗務員だけに不利益を与える自主規制について、Km労働組合は実施直後から、規制解除を要求してきました。

冒頭のウィキペディアからの引用文書を見て明らかなように、そもそも、自主規制とは本来、業界

班会議欠席者には、出庫を遅らせてまで説明して、社運を賭けた伊勢丹プロジェクト!!と称してスタートした伊勢丹専用乗場に於いて社運を賭けるとは、この程度なのかと疑問に思う内容でした。

全社を挙げずに社運を賭けた伊勢丹プロジェクト!!

閑散期だけを乗り切って、今後の対応は：：！！

全体で行ってこそ効果があるもので、単一企業だけで行ってもその効果は皆無です。実際、四社ケツトの利用客を、他の3社と業務提携(グループ)会社にして差し出して、現状問題として起こっています。事業許可取消し処分後の、当局に対する褻の意味を込めて実施した自主規制は、辛うじて理解できませんが、3年が経過した現在でも、未だに業務提携(グループ)会社乗務員に遵守させられないのですから、即刻解除するべきです。

百貨店の閑散期であり、ほとんど雨の降らなかつた8月が経過しただけで、実績の検証もなしに配車優先権の付与を打ち切り、その優先権の付与もシステム都合で、10日毎に3個まで、拌田センター長がルールだと言わんばかりのお粗末な運用実態。営業部と無線室のどちらが主導していたのか、疑問だらけです。

【風来末】
原発ゼロ、原発再稼働反対のデモに遭遇しました。
大規模なデモだったので、かなりの時間動かせませんでした。個人的にはデモの主旨に賛成なのですが、渋滞となると、ハンドルを握っている立場で考えてしまいます。車の運転はいつでも自己本位になります。対自動車、歩行者ももちろん対車でも同じです。なぜなのでしょう？
自転車に乗っていると車が邪魔ですから、「車の運転」が自己本位にさせるわけではないようです。相手の立場になることは意識の問題でしょう。これがなかなか出来ません。
金子みすゞの有名な詩です。
『朝やけ小やけだ
大漁だ 大ばいわし
のようだけど 海の中
では 何万のいわし
のとむらいするだらう』
忘れてはいけません。目線だと思えます。
(破人)

伊勢丹専用乗場に行かなくなる乗務員がいることも承知の上で、優先権付与を打ち切るのかとの問